



【救助ボート操船訓練の様子】

# 中泊119

平成17年9月号

## 救助ボート操船訓練実施

平成17年7月14日(木)、15日(金)の2日間にわたり、小泊地区海域(小泊マリナーパーク、折腰内海水浴場、冬部川、青岩)において小泊消防署第1隊、第2隊で救助ボート操船訓練を行いました。この訓練は、水難事故が発生した場合に備えて、スムーズに救助ボートを設定し、操船技術を向上させるための訓練です。  
消防署では夏場になると毎日、船外機等の器具を点検し、水難事故等に万全の態勢で備えています。

## 『激しいめまいに襲われたら』

### ☆解決の第一歩☆

静かに横になり、目を閉じて頭を動かさないこと。  
めまいには様々な原因がある。中には脳卒中という危険な場合もあるので要注意。

めまいがあり、手足のしびれ、ろれつがまわらなくなるといった症状があるときは脳卒中の可能性がある。  
めまいが悪化することがあるので頭を動かさない。  
姿勢を低くするか横になり、頭を動かさないよう衣類をゆるめる。

吐くおそれがあるときは、体全体を横向きにして嘔吐物がのどに詰まらないようにする。  
意識を失って倒れた傷病者の場合は、頭をうつていないか、出血の有無を調べる。

\*代表的なめまいの症状は2種類。

火事/救急/救助は  
**119番**  
病院照会  
**57-4999番**  
中里消防署  
**57-2370番**  
小泊消防署  
**64-2375番**

「回転性のめまい」は天地がグルグル回転するのを感じる状態。主に内耳器官の異常によるが、脳血管障害(脳卒中)の場合もある。

「非回転のめまい」は、例えば立ち上がったときに急に目の前が暗くなる「立ちくらみ」などの状態。脳貧血、低血圧など様々な原因で起こる。

軽いめまいでもたびたび起こったり、症状が急激な場合は医師の診察を受けましょう。  
『頭を動かさない理由』  
そのめまいの原因がなんであれ、頭を不用意に動かせば、三半規管(内耳)が刺激され、さらに症状の悪化を起すため。



## 栃木より救急救命士の卵 救急実習に来る!

8月8日から12日までの5日間、栃木東洋パラメディカル学院・救急救命科の角田透君が中里消防署へ救急実習に来ました。実習期間中は、積極的に質問やシミュレーションをするなどとても意欲があり、救急救命士になりたいという気持ちがありました。



## ☆ハチに注意! ☆

ハチの中でも、巨大な巣を作るスズメバチ。強烈な毒を持ち、たまにショック死したというニュースを聞きます。

ここで、ハチに刺されたときの応急処置についていくつか紹介します。

☆局所症状【軽い症状】  
刺された箇所が、強い痛み、赤くなる、腫れてくる。

### ○応急処置

たいていの場合ハチは毒針を人体に残していきません。まずこれをピンセットで抜いた後、水でよく洗い流し、抗ヒスタミン軟膏が副腎皮質ホルモン軟膏を塗ります。かゆみ、痛みを抑える為に濡れタオルなどで冷やすのも効果があります。



### ☆全身症状【重い症状】

刺されてから数分から20分後に、唇・目の回りの腫れ、発疹、呼吸困難、吐き気、発熱、胸内苦悶、腹痛、下痢、意識障害、ショックなど大変重い症状になる。  
一刻も早く医療機関に運ぶ必要があります。



### \*注意

ハチにアンモニアは間違い! 昔から言われてきましたが、全く効果がなく、逆に皮膚炎を起す可能性があります。